究極格闘指南!
取扱説明書

■はじめに■

この度は、「究極　格闘指南」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。お遊びになる前に本説明書をよくお読みになって下さい。なお、本製品に関して不都合が生じました場合には、弊社ユーザーズサポート係までご連絡下さい。

目　　次

■パッケージの内容■

パケージには、以下のものが入っています。

1・フッロッピーディスク4枚。

2・取扱説明書。(本書です)

3・ユーザーズサポート
　ユーザー登録用の葉書です。
　この葉書に必要事項を記入の上、弊社ユーザーズサポート係までご返送下さい。
　葉書が返送されませんと、ディスク破損等の場合にサポートいたしかねる場合があります。

■必要なハードウェア構成■

このゲームをプレイするには、以下のハードウェアが必要です。

対応機種………PC9801VX以降のEGC対応機種のみ。
　　　　　　　PC9821シリーズ。

・ノートパソコンの場合には、レジュームを切って下さい。
・GDCは、2.5MHzに設定して下さい。

■項目選択&移動操作■

このゲームでの、基本的な操作方法です。

上移動……テンキー「8」または「T」キー
下移動……テンキー「2」または「B」キー
右移動……テンキー「6」または「H」キー
左移動……テンキー「4」または「F」キー

Aボタン……カーソルキー「←」、「Z」キー、「Return」キー、「スペース」キー
Bボタン……カーソルキー「→」、「X」キー、「ESC」キー

なお、このゲームでは、訓練時などの一部の操作がマウスにも対応しています。
左クリックが「Aボタン」、右クリックが「Bボタン」となっています。

■ゲーム起動方法■

パソコンの電源を入れ、「ゲームディスク」をAドライブに入れて、リセットしてください。

まず、ゲームを起動させると、あなたのパソコンのドライブディスクの数を聞いてきます。
1ドライブ機種か2ドライブ機種かを選択してください。
(注……RAMドライブなどがある場合は、RAMドライブをAドライブに設定し、起動ドライブにして、そこにゲームディスクを転送してください。
その後、リセットしてRAMドライブから起動してください。この場合、2ドライブの方を選択してください。)

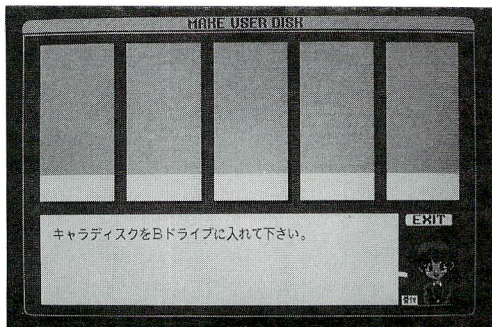
なお、上記の手順で、電源を入れてディスクをセットし、リセットしてもゲーム以外のものが起動してしまう(Windowsなど)場合は、お持ちのパソコンのマニュアルをお読みになって、フロッピーディスクドライブをAドライブにし、そのドライブを起動ディスクドライブに設定して、もう一度お試しください。

ゲームが始まりますと、まず、メインメニュー画面が表示されます。

ここでは、ユーザーディスクの作成と、ビデオディスクの作成ができます。

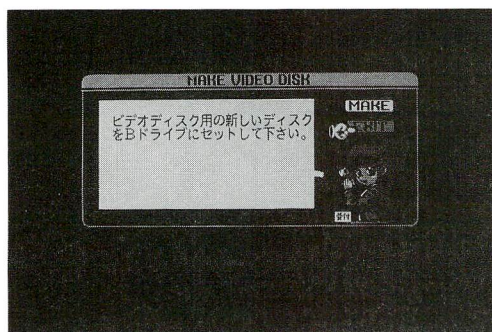
GAME START ……………ゲームを開始します。
USER DISK MAKE ………ユーザーディスクを作成します。
VIDEO DISK MAKE………ビデオディスクを作成します。

始めてゲームをスタートする場合には、まず始めに、ユーザーディスクを作ってください。
ビデオディスクは、ゲーム中の戦闘を録画するのに必要ですので、数枚作っておくとよいでしょう。

■USER DISK MAKEを選択すると、ユーザーディスク作成画面になります。

メッセージに従ってディスクを入れ、表示された弟子キャラの中から好きなキャラを選びAボタンを押すとユーザーディスクの作成がはじまります。
指示にしたがい、ブランクディスクをセットしてください。

EXITでユーザーディスク作成画面から出ます。

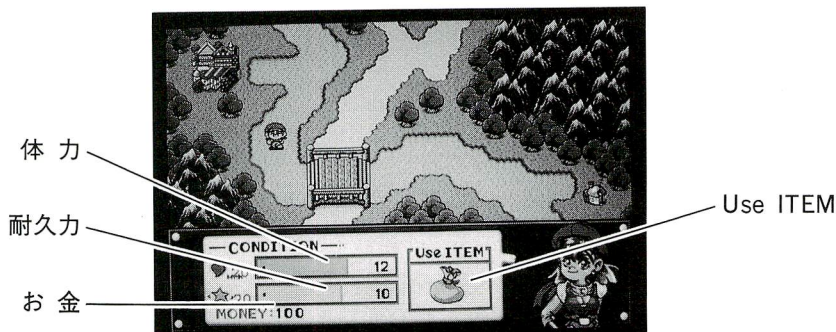
キャラディスクは数枚あります。
本来の弟子以外にも、先生キャラなども弟子として選択できます。
キャラクターディスクを入れ替える事で、ほかのキャラクターも選択できます。

■VIDEO DISK MAKEを選択すると、ビデオディスク作成画面になります。

MAKEを選択すると、ビデオディスクを作成します。
指示にしたがい、ブランクディスクをセットしてください。

ビデオディスクは、ゲーム中の戦闘を録画するのに使用します。
1回の戦闘を記録するのに、1枚のディスクを使用しますので、数枚作成しておくとよいでしょう。

EXITを選択すると、ビデオディスク作成画面から出ます。

■通常画面の操作

ここでは、移動キーを使ってキャラクターを動かし、ストーリーを進めてゆきます。

体　力………これが無くなると、弟子は倒れてしまいます。
耐久力………戦闘の時に、耐えられるダメージの量です。
お　金………アイテムなどを買う場合に使います。
UseITEM … 現在手に持っているアイテムです。
　　　　　アイテムを使用したい場合には、手に持つ必要があります。

Aボタンを押すと、コマンドパネルが開きます。
コマンドパネルから、アイテム使用などのさまざまな操作をします。

■コマンドパネルについて

ここで、アイテムやファイルの操作をします。
ITEM SELECT ………アイテムパネルを開き、手に持つアイテムを選択します。
ITEM USE ……………現在手に持っているアイテムを使用します。
ITEM DROP …………アイテムパネルを開き、いらないアイテムを捨てます。
TROPHY ………………トロフィーパネルを開きます。
FILE ……………………ファイルパネルを開き、セーブやロードをします。
END ……………………ゲームを終了します。
EXIT……………………コマンドパネルから出ます。

ゲーム中、あるアイテムを使う必要がある場合、あらかじめ手に持っておいてください。
例えば、ある人に「紹介状」というアイテムを見せる必要がある場合、ただアイテムがあるだけでは、見せた事にはなりません。
ITEM SELECTを選んで、手に持つアイテムに「紹介状」を選んでから、その人に会ってください。

■アイテムパネルついて

手に持つアイテムや捨てるアイテムを選択します。
アイテムを選び、Aボタンで決定します。
EXITを選ぶと、パネルから出ます。

■ファイルパネルについて

ここでファイル操作をします。

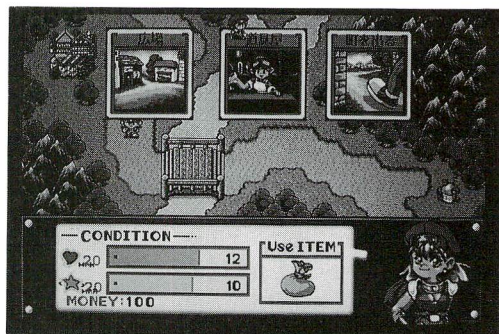
FILE SAVE………現在の状態を保存します。
FILE LOAD………保存した状態を読み込みます。
EXIT………………ファイルパネルから出ます。

ここで保存せずにENDでゲームを終了すると、次にゲームをする時に、今の状態からゲームを開始できませんので、注意してください。

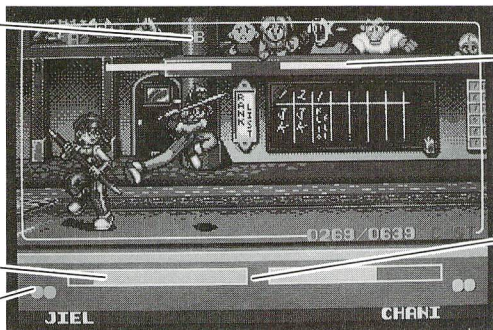
■トロフィーパネルについて

試合場などで優勝すると、1つの試合場につき1つ、トロフィーを手にいれる事ができます。
現在持っているトロフィーを表示します。
EXITでトロフィーパネルから出ます。

■町などに入った場合

町などに入ると、行ける場所のパネルが表示されます。

パネルの上に弟子キャラが表示されるので、行きたい所に移動させて選び、Aボタンで決定します。

場所によって、会話などが聞けます。会話の途中で「▼」マークが表示されたら、Aボタンで次に進めます。
また、会話はその場所に行くたびに変わる事があります。

■戦闘、訓練での操作■

戦闘や訓練になると、画面がかわり、戦闘画面になります。
戦闘にはいくつか種類があり、状況によって設定用パネルが変わります。

このゲームでは、プレイヤーがキャラクターを操作して戦うのではなく、弟子キャラクターが自分の判断で戦いますので、プレイヤーは自分の弟子に、戦闘前にさまざまな指示を与える事がメインとなります。
また、訓練でも、ビデオパネルなどを操作しての、弟子へのアドバイスを、パネルを設定しておこないます。

■各パネルの操作について■

■戦闘設定パネル

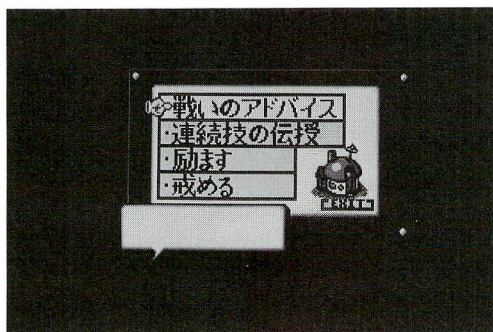
ここでは、自分の行動レベルとビデオディスクへ録画するかどうか設定します。

設定したならば、BATTLE STARTを選択して、Aボタンを押すと、戦闘が開始します。

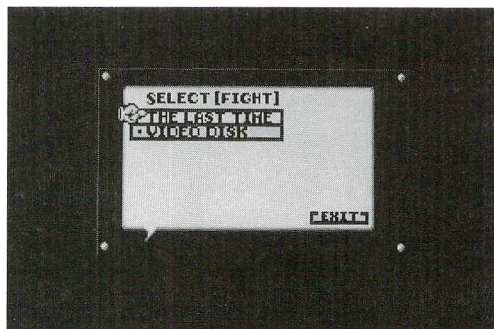
行動レベルは、弟子の戦い方の設定です。
1レベルでは、教えられた通りの行動をします。
2レベルでは、いくらか自分の判断で、戦い方をアレンジします。また、あるていどの自己学習をします。
3レベルでは、かなり好きなように、技を出します。また、自己学習を積極的に行います。

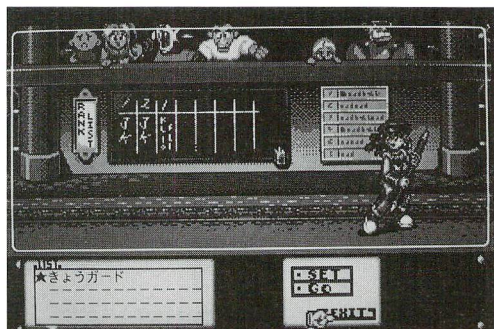
戦い方があるていど良くなったならば、1レベルでの戦闘をおすすめします。

■師匠パネル

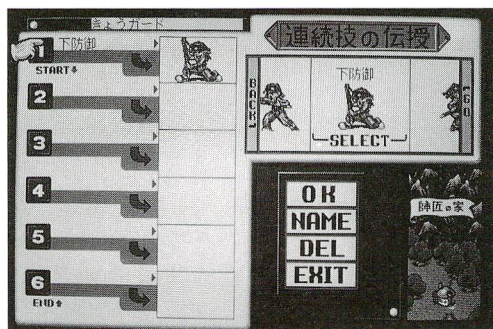
師匠の所に行って、アドバイスをうけると、このパネルが開きます。

戦いのアドバイス………ビデオディスクや前回の戦闘などについての戦いのアドバイスをします。
連続技の伝授……………弟子にオリジナルの連続技を教えます。
励ます……………………弟子が自信を無くした時に、励まします。
戒める……………………弟子が自信過剰になった時に、戒めます。

このパネルには、毎回、「技に自信を持っている」や「最近、落ち込んでいるようだ」といったように、弟子の精神状態が表示されます。
訓練をつづけていて、戦い方の覚えが悪かったり、戦い方がおかしくなった時に、精神状態も悪くなっていたならば、落ち込んでいるならば、「励ます」コマンドを、自信過剰になっているようならば、「戒める」コマンドでしかってやってください。
ただし、頻繁に使うと、戦い方がおかしくなる事がありますので、注意してください。

戦いのアドバイスを選択すると、どの戦闘シーンのアドバイスをするか、聞いてきます。

前回の戦いを見る場合は、「THE LAST TIME」を選択し、Aボタンを押してください。
ビデオディスクを見る場合は、「VIDEO DISK」を選択し、Aボタンを押して、つづいて表示されるメッセージに従い、必要であればディスクをセットしなおしてから再び「VIDEO DISK」を選択、Aボタンを押してください。
どちらかを選択すると、アドバイスモードに入って、弟子にアドバイスする事ができます。この状態から出るには、「EXIT」を選択し、Aボタンを押してください。

■連続技設定
師匠の所で、連続技の伝授を選択すると、この画面になります。

まず、変更したい連続技や、連続技を追加したい時は、左リストより技や空白を選択し、Aボタンを押して、決定します。(★マークがつきます)次に、右のコマンドを選択し、Aボタンで実行します。

SET ………選択した連続技を変更、追加します。
GO…………選択した連続技を実行してみせます。
EXIT………設定画面を出ます。

SETを選択すると、連続技設定画面になります。

左のリストの順に、技が実行されます。

設定のしかたは、まず、技を入れたい所を左のリストの1から6の中から選択します。
そして、そこでAボタンを押すと、番号のとなりに、★マークが表示されます。

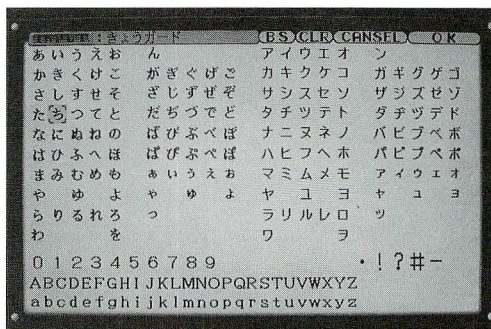
次に、右上の所で、セットしたい技を選択します。
「GO」と「BACK」の所でAボタンを押すと、技が変わりますので、セットしたい技を選択してください。

技を選択したならば、右下のコマンドから「OK」を選択し、Aボタンを押してください。これで、技が連続技にセットされます。

OK…………★マークの所に、選択した技をセットする。
NAME ……連続技に名前をつける。
DEL ………★マークの所の技を消去する。
EXIT………連続技の設定画面から出ます。

連続技は、設定しただけでは戦闘中に実行しません。
アドバイスなどで、出すタイミングを弟子に教えてやらなければなりません。

■文字入力

名前などの文字は、この画面で入力します。

カーソルを移動して文字などを選択し、Aボタンで決定します。

OK……………入力した文字を決定します。

CLR …………文字を全部消します。

CANSEL ……入力前の文字に戻します。

BS……………一つ前の文字を消します。

■先生との訓練

先生の所へ行くと、訓練をうけることができます。

訓練に入ると、どの訓練をするか聞いてきます。

通常訓練……先生と戦い、その後で今の戦いについてアドバイスをする事ができます。

特殊訓練……先生キャラをプレイヤーが操り、弟子と戦う事ができる、オマケモード。

EXIT ………訓練から出ます。

通常訓練を選択すると、通常訓練設定画面になります。

ここで、後に行われる先生との戦いの設定をします。

行動レベル………行動レベルは、弟子の戦い方の設定です。
1レベルでは、教えられた通りの行動をします。
2レベルでは、いくらか自分の判断で、戦い方をアレンジします。
また、あるていどの自己学習をします。
3レベルでは、かなり好きなように、技を出します。
また、自己学習を積極的に行います。
これらは、戦闘設定画面と同じです。

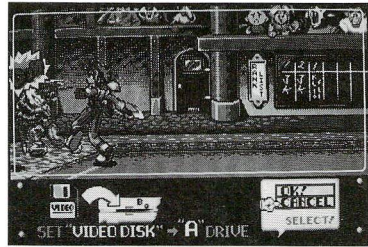
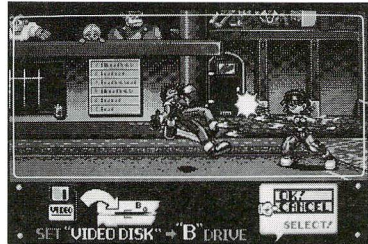
ビデオ録画………ビデオディスクに録画するかどうか決めます。

BATTLE START………訓練を開始します。

連続訓練…………ビデオ録画と、戦闘後のアドバイスをうける事ができませんが、
延々と戦闘をくりかえすモードです。
行動レベルで自己学習のあるレベルを設定すると、よいでしょう。

EXIT ……………訓練設定画面から出ます。

BATTLE STARTで戦闘が始まり、決着がついて戦闘が終了すると、ビデオ録画有りにしている場合、ビデオディスクを入れるように指示が出ます。

1ドライブの場合(1ドライブ指示画面写真)
Aドライブにビデオディスクを入れて、右コマンドから「OK」を選択し、Aボタンを押してください。

2ドライブの場合(2ドライブ指示画面写真)
Bドライブにビデオディスクを入れて、右コマンドから「OK」を選択し、Aボタンを押してください。

この時右コマンドから「CANCEL」を選択すると、ビデオ録画しません。

この後、今の戦闘について、弟子に指導するかどうか聞いてきます。
「指導する」を選択すると、アドバイスモードに入ります。
「EXIT」を選択すると、訓練設定画面に戻ります。

特殊訓練を選択すると、特殊訓練設定画面になります。

コマンドは基本的に通常訓練と同じですが、一部違いがあります。

体　力……先生側がダメージをうけない状態にするかどうか設定します。
タイム……時間制限の有無を設定します。
ただし、時間設定をなくすと、ビデオ録画と戦闘後の指導ができません。

なお、この訓練では、連続訓練はありません。

特殊訓練での先生キャラクターの操作方法は以下のとおりです。

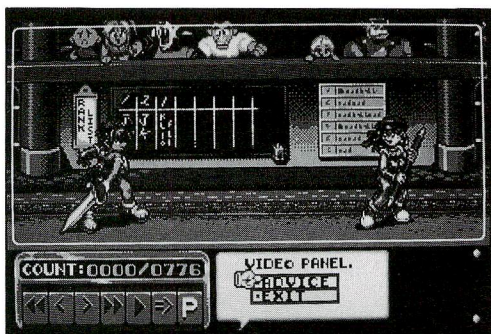
ジャンプ…………テンキー「8」または「T」キー
しゃがむ…………テンキー「2」または「B」キー
右 移 動…………テンキー「6」または「H」キー
左 移 動…………テンキー「4」または「F」キー

攻撃Aボタン……カーソルキー「←」、「Z」キー
攻撃Bボタン……カーソルキー「→」、「X」キー
防御ボタン………カーソルキー「↑」、「A」キー

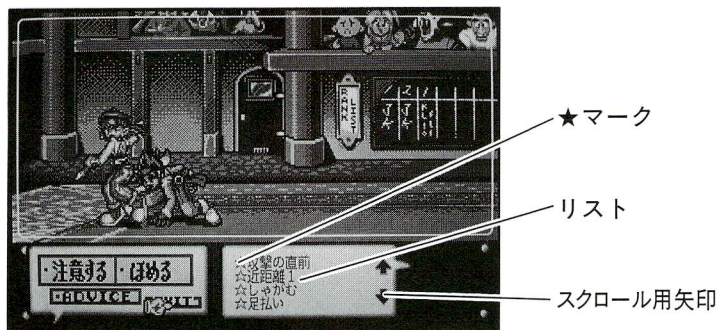
キーの組み合わせによって、特殊な技が出ます。
また、前進しつつ防御ボタンを押している時、相手が近くにいれば、相手をつかんで投げます。

■アドバイスモード
先生との訓練の後や、師匠の所でのアドバイスを受けると、このアドバイスモードに入ります。

始めに、アドバイスモードのビデオパネルが表示されます。

左から
・早巻き戻し
・巻き戻し
・先送り
・早先送り
・再　生
・コマ送り
・ポイントリサーチ

ここで、ビデオを操作します。

早巻き戻し………ビデオを高速に巻きもどします。
巻き戻し…………ビデオを巻きもどします。
先送り……………ビデオを先送りします。
早先送り…………ビデオを高速で先送りします。
再　生……………ビデオを普通に再生します。
　　　　　　　　再生中、Bボタンを押すと、再生がストップします。
コマ送り…………ビデオをコマ送りします。
　　　　　　　　Aボタンを押すと、1コマ進みます。
　　　　　　　　Bボタンを押すと、再生がストップします。
ポイントサーチ…これは、弟子が行動を起こす瞬間を頭出しする機能です。
　　　　　　　　Aボタンを押すと、弟子が行動を起こす瞬間ごとに再生が一時停止します。
　　　　　　　　Bボタンを押すと、再生がストップします。
ADVICE…………アドバイスパネルが開き、現在表示されている状況について、アドバイスを与えます。
EXIT ……………アドバイスを受けた弟子のデータを保存して、アドバイスモードから出ます。

アドバイスパネルが開くと、右の状態リストに現在の状況が表示されます。

注意する………注意パネルで、現在の状況での弟子の行動に注意をします。
褒める…………褒めるパネルで、現在の状況での弟子の行動を褒めます。
ADVICE ………行動選択パネルで、現在の状況で出すべき技を教えます。
EXIT ………… アドバイスパネルから出ます。

右の状態リストは、リスト右の矢印でスクロールさせて見る事ができます。
矢印を選択して、Aボタンを押して操作してください。
また、表示されているリスト中の項目を選択して、Aボタンを押すと、項目の先頭の★マークが、出たり消えたりします。
これが消えた状態の項目は、アドバイスの時に、無視されます。
例えば、相手との距離は関係無いアドバイスを与える場合、そのまま褒めたり注意すると、距離についても影響してしまい、思ったように学習してくれない時があります。
こういった場合に、影響を与えたくない項目を選択して、★マークを消して項目を無視させてください。

■注意パネルでは、３段階の強さで、弟子を注意できます。

弟子を注意すると、弟子はその状況に近い状況で、注意された行動をなるべくとらないようになります。

SIMPLE…………軽く注意する
NEUTRAL………注意する
SEVERE…………厳重注意
EXIT ……………注意パネルから出る

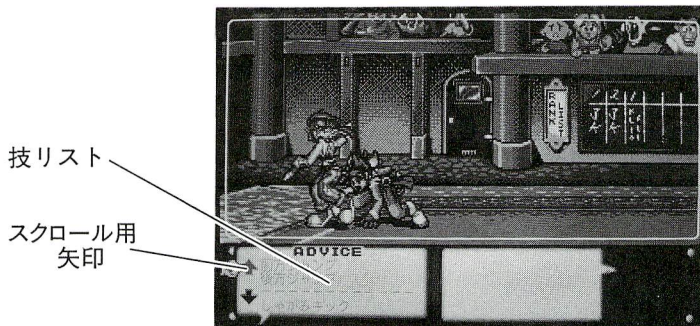
３番目に近づくほど、強く注意する事になります。
強く注意すれば、それだけその行動をとらなくなりますが、注意しすぎると、弟子が自信を無くして、行動がおかしくなったりしますので、気をつけてください。

■褒めるパネルでは、３段階の強さで、弟子を褒めることができます。

弟子を褒めると、弟子は褒められた状況に近い状況になった時に、褒められた技をよく出すようになります。

GOOD…………かるく褒める
BETTER………褒める
BEST!…………強く褒める
EXIT …………褒めるパネルから出る

BEST!に近づくほど、強く褒める事になります。
褒めれば褒めるほど、その行動をとるようになりますが、褒めすぎると弟子が自信過剰になって、どんな時でもその行動をしようとするようになってしまいますので、注意してください。

行動選択パネルでは、その状況で出すべき技を指定する事ができます。

左に、行動のリストがあります。
リストの左の上下矢印で、リストをスクロールし、指定したい行動が見つかったならば、リスト中のその行動を選択し、Aボタンを押して決定してください。
また、リスト最終のCANSELを選択すると、行動を指定せずに、行動選択パネルを出ます。

行動をリスト中から選択すると、次は、その行動をどのくらいの頻度で出すか、選択します。

LOW.LEVEL…………たまには出すように指定
MIDDLE.LEVEL ……適度に行動するように指定
HIGH.LEVEL ………できるだけやるように、強く指定する
EXIT ……………………行動の指定もキャンセルして行動選択パネルから出る

一度指定してしまえば、後は褒めたり注意したりで、その行動を起こす頻度などを操作する事ができます。
また、新しい連続技などは、ここで指定しないと、ほとんど技を出しません。

■指南の手引き■

1・まずは一回戦わせること。
手近な相手と、弟子を戦わせてみる。

2・師匠の所で、アドバイスをうける。
ビデオをよく見て、気にいらない所をさがす。

3・一番始めは、好きにさせる。
始めて戦わせる時は、行動レベルを3にするとよい。

4・教える時は、ポイントサーチで。
行動の最初に対して褒めたり、注意した方が、学習効果が高いので、ポイントサーチで再生して、行動を始める瞬間に注意した方がよい。

5・ジャンプからの攻撃は、ジャンプ中に教える。
ジャンプしている所でビデオを止めて、ジャンプ攻撃を教えること。
だから、まずは「ジャンプ」させる事からおしえよう。

6・複数の技を教えよう。
特定の状況で、1つの技ばかり教えると、状況によっては変な行動をとる事がある。

7・連続技は、基本の後で。
はじめから連続技ばかり使わせると、接近戦に弱くなるなど、変なクセがついてしまう。

8・教えているうちにうまくいかなくなった時は、アドバイス時の状況に注意。
アドバイス時の右の状況リストから、必要ない項目を外して教えよう。

9・最終的には、行動レベルは1にしよう。
　他のレベルだと、良い学習状態からだんだんとズレてきて弱くなる事がある。

10・技を知る。
　どんな技かを知りたい時は、連続技設定画面で、技を選んで実行してみよう。

■ユーザーズサポートについて■

パッケージに入っているユーザー登録葉書は必要事項をご記入の上、なるべくご返送下さい。返送されていない場合、以下のサポートが受けられない場合があります。

製品に関しては万全を期しておりますが、万一弊社の責任による不都合が生じました場合には、そのディスケットと現金1,500円をユーザーズサポート係までお送り下さい。新しいディスケットとお取り替えいたします。

日本ソフテック株式会社
ユーザーズサポート係
〒191　東京都日野市旭が丘5丁目15番51号
TEL 0425-82-1502　FAX 0425-87-3991

■STAFF■

メインプログラム	大塚武見
グラフィック	堀内一弘
サブプログラム	遠藤英紀
音　楽	ノブスケ
協　力	原　一史 西前健司